※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の音楽」（教育芸術社出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱では、合唱曲だけでなく J-POP などさまざまな歌を通じて総合的な歌う力を伸ばします。
・器楽では、状況に応じてギター等に取り組みますが、自分たちで弾きたいものが自由に演奏できるように、クラシックだけに留まることなく、コード弾きなどの基本的な技術も学習していきます。
・鑑賞や創作活動を通じて、感じる力、また自己を表現する力を伸ばします。
・音楽の授業の目標は、総合的な音楽の力を高めることですが、大切なことは他者とコミュニケーションを取りながら協働的に活動すること、感じる力と感じたことをアウトプットする力を高めることです。これらの社会に出てからも必要な力を伸ばしながら、表現する力を学習していきましょう。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、他者と協働して活動する喜び、心が動く瞬間を感じながら、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。
（１）曲想と音楽の構造、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を習得する。
（２）自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら自ら味わって聴くことができるようにする。
（３）主体的・協働的に音楽の幅拾い活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しむ態度を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想や音楽の構造、音楽の多様性について理解するとともに創意工夫を活かした音楽表現をするために必要な音色や奏法、音のつながり方や強弱などを表現する技能を習得している。	音や音楽のもつ要素を知覚し、そのよさや特性、変化などを感じ取り、自己のイメージする表現内容に合わせて創意工夫する能力、音楽作品などを鑑賞し、曲想を感じ取りながら喚起された自己のイメージや感情を、音楽の構造や文化的背景などと関わらせて評価しながら自ら味わう能力を向上させている。	音楽の表現活動の喜びを味わいながら、主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	２声コーラス	【歌唱】 ・「校歌」 ・2人での歌唱課題	a:曲にふさわしい発音や強弱を区別して表現することができる。 b:　グループで話し合いながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することができる。 c:表現活動の喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組んでいる。	実技テスト	実技テスト ワークシート	ワークシート 観察
	ギターアンサンブル	【器楽】 ・ギターの弾き歌い	a:曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法や他者との調和を意識して演奏することができる。 b:　知識や技能を活かしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 c:表現活動の喜びを味わいながら、主体的・協働的に活動に取り組んでいる。	実技テスト ワークシート	実技テスト	観察
	創作リズムアンサンブル	【器楽】 ・複数名でのリズムアンサンブル 【創作】 ・楽曲に合わせたリズムや動きの創作	a:創意工夫を活かした創作表現をするために表現意図をもって音を変化させることができる。 b:即興的に音を出して音の質感を感じ取り、表したい音楽のイメージを膨らませながら音の組み合わせを工夫することができる。 c:表現活動の喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組んでいる。	実技テスト	実技テスト	ワークシート 観察
	鑑賞	【鑑賞】 ・日本を含む、さまざまな国・地域の音楽の鑑賞	a:それぞれの音楽の特徴や文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解することができる。 b:音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。 c:主体的・協働的に活動に取り組み、音楽を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとしている。	ワークシート	ワークシート	観察

※令和４年度以降入学生用

後期	合唱	【歌唱】 ・三部合唱および四部合唱	a:曲想と音楽の構造や歌詞の関わりを理解することができる。 b:知識や技能を活かしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することができる。 c:表現活動の喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組んでいる。	実技テスト ワークシート	実技テスト	観察
	器楽アンサンブル	【器楽】 ・任意の楽器でアンサンブル	a:様々な演奏形態による器楽表現の特徴を理解し、他者との調和を意識しながら表現形態の特徴を活かして演奏することができる。 b:知識や技能を活かしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 c:表現活動の喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組んでいる。	実技テスト ワークシート	実技テスト	観察
	鑑賞	【鑑賞】 ・映像鑑賞	a:音楽の特徴や文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解することができる。 b:曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさなどを自ら味わって批評しながら聴くことができる。 c:主体的・協働的に活動に取り組み、音楽を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとしている。	ワークシート	ワークシート	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度